

流行性角結膜炎について

皆さんは流行性角結膜炎りゅうこうせいかくけつまくせんという眼の病気をご存知ですか？昔から「はやり目」と呼ばれている、アデノウイルスが原因の結膜炎です。このアデノウイルスは感染力が強く、ウイルスに汚染されたティッシュペーパー・タオル・洗面器などに触れることで感染してしまいます。そのため、集団生活の場において感染が拡大することもよく見られ、注意が必要な病気となっています。

今回は、流行性角結膜炎感染を広めないための対策などについてお話ししたいと思います。

○症状は？

通常、アデノウイルスに感染すると、1～2週間の潜伏期間せんぷくきかんを経て発症し、片目に発症した場合、数日以内に他の目にもうつるとされています。発症したら、まず結膜が充血し、涙や目やにがたくさん出始めます。ときには、出てくる涙や目やにの量が多すぎて目が開けられないこともあります。かゆみはほとんどありません。

その他の特徴として、以下のような症状が見られます。

- 目のひどい充血
- 目のごろごろ感
- 耳前リンパ節が腫れ、痛みを感じる場合がある
- 風邪と同様に咳が出たり、熱が出たりする場合もある

症状の強い人では、結膜の表面に白い炎症性の膜まく（偽膜）ができることがあり、特に小さなお子さんでは成人より生じやすいといわれています。



○治療法は？

アデノウイルス全般について有効な薬剤はなく、自然経過で1～2週間で治癒します。対症療法として抗炎症剤の点眼を行い、さらに角膜に炎症および混濁がみられるときは、ステロイド剤を点眼します。また、細菌の混合感染の可能性に対しては、抗菌剤の点眼や眼軟膏による治療を行うこともあります。

☆対処療法で使用される点眼薬（院内専用）☆

・抗炎症剤

⇒ニフラン[®]点眼液・プロナック[®]点眼液

・ステロイド剤

⇒サンベタゾン[®]眼耳鼻科用液・フルメトロン[®]点眼液

・抗菌剤

⇒パニマイシン[®]点眼液・レボフロキサシン[®]点眼液・ベストロン[®]点眼液・オゼックス[®]点眼液・エコリシン[®]眼軟膏・タリビット[®]眼軟膏

○感染を広めないためには？

流行性角結膜炎と診断されたら、周囲の人に感染を広めないよう注意する必要があります。他人へ感染させる恐れのある期間は、約1～2週間です。

家族とはタオルを分け、感染した人もまわりの人もこまめに手を洗う、なるべく目をこすらないなどの工夫をするようにしましょう。

☆アデノウイルスに対し有効とされている消毒法☆

・水道ノブ・ドアノブ・一般環境

⇒80%以上のアルコール清拭剤もしくは0.1%の次亜塩素酸（ハイター等）で2度拭き

・手指

⇒速乾性アルコール手指消毒薬または、石けんを用いた十分な手洗い
(※参考：0.1%の次亜塩素酸⇒1Lのペットボトル1本の水に5%の次亜塩素酸を20mL入れたもの)

なお、学校保健法では感染力がなくなると医師が判断するまで、登校を

禁止することと規定されています。

～お薬のことでご不明な点やご不安な点がある場合には、医師又は薬剤師までご相談ください。～

